

中国農業の発展方式の転換

2004年以来、中国は11年連続で食糧の増産を成し遂げ、2014年の食糧総生産量は6.1億トンに達した。しかし、農業の発展はまた多くの困難にも直面している。一つ目は、国際市場の食糧価格が下落する一方で人民元が米ドルに対して上昇し続け、国内の食糧価格が国際市場より高くなっていることである。二つ目は、農業投入財、地代や賃金等の価格が上昇し、国内の農業生産コストが上昇し続けていることである。三つ目は、WTOに対して承諾した「黄の政策」の補助金枠に、もはや大きな余裕がないということである。四つ目は、長期にわたり農業の自然資源を過度に利用したことで、農業の資源環境を損なってきたことである。これらの困難に対応するため、農業の発展方式の転換を加速しなければならない。

一つ目として、農業生産構造の調整を加速させることである。農産物の生産構造と市場の需要構造には一定の矛盾が存在するため、国内のトウモロコシの在庫が増加し、大麦、コーリャン、キャッサバ、DDGS(トウモロコシ蒸留粕)や牧草などトウモロコシ代替品の輸入が増加している。この事態に対応するため、一部の地区で農業と畜産を結合した生産方法を実行するようにし、トウモロコシから牧草やサイレージ、または市場で需要のあるその他の農産物へ作付転換を奨励する。

二つ目は、農村において一次、二次、三次産業の融合的発展を奨励することである。契約農業や電子商取引等の新しい販売形態を発展させることにより、農家や協同組合は農産物や加工品の市場への直接販売を拡大し、それにより農民の就業と増収の余地を広げる。同時に、農村特有の自然と人的資源を十分に活用し、農業と農村の各種機能を合理的に発展させる。特色ある町や村の開発と、「農家楽」(グリーンツーリズム)等の農家の家庭料理レストランや旅館業等を開業することで、2014年には合計で延べ12億人の農村観光の客を迎え、農村観光は3,200億元の収入と、3,300万人の農民の就業を牽引した。

三つ目は環境に優しく、持続可能な生態農業の発展を推奨することである。長期にわたって農業の自然資源に負担を強いたことで、多くの地方では農村の生態系の後退と自然環境の悪化という現象が現れている。そのため政府は計画を定めて、みだりに生態系の脆弱な地区の自然資源を開発することを禁じ、地下水を過度に採掘した地区や土壌の重金属汚染地区に対する対策を講じた。農業のクリーンな生産基準を定めて毒性が低く残留の少ない農薬の使用を推奨し、農業用水、肥料、薬品の使用基準を厳格にする。農業廃棄物を資源化して利用するための規則制定の推進を加速させ、メタンガス等の技術を推進することで、農作物のわら

や家畜の排せつ物を宝に変え、バイオマスエネルギーと有機肥料の重要な供給源とする。

四つ目は、農業経営システムの改革である。中国では都市化が既に大きく進展しているが、2014年の農村の常住人口は依然として6億人を超えている。農業人口の減少は徐々に進んでいく過程を辿るしかなく、農村に人が多く土地が少ないという構造を短期間に根本から変えることは難しい。このため農家の家族経営はかなりの期間にわたり、依然として中国の農業生産の基本的な担い手であり続けるだろう。

こうしたなかで、農家の経営を近代化し農業の発展軌道に引き入れることが、中国農業の重要な課題となっている。2014年末までに、中国の農家の請負耕地の30%は既に各種のルートによって経営権が移行した。そのうち、あるものは土地経営権を現物出資して協同組合を設立し、あるものは土地経営権を他の農家あるいは農業生産に従事する企業に貸し出した。より一般的なのは、食糧生産に従事する農家が、耕作、種まき、病虫害防除、収穫、食糧の乾燥、貯蔵から加工、販売等に至るまでの各生産段階の作業の全部あるいは一部を、農業社会サービス組織に委託して請け負わせることである。農家がこのような組織に加わる新たな農業経営システムでは、1戸ごとの耕地の経営規模にはさほど変化がないように見えて、その実、明らかに農業技術が向上し機械のサービス規模が拡大しており、家庭の小規模な経営状況でありながらも近代的な農業技術と設備を大規模に応用するための条件を整えてきた。

農業経営システムの革新は、農業に2種類の経営主体を作り出そうとしている。一つは自家で農地を経営し、それにより農産物を提供することを主とする家族農業経営主体である。もう一つは、農業生産の各作業段階のサービスを提供することを主とした社会サービス主体である。この2種類の経営主体は相互に依存し補完し合って効果を増し、農業生産コストを削減して経済的效果を向上させる。

農業人口の多い国においては、農業政策を単なる産業政策と見なしてはならない。農業経営システムの改革過程で、農民の耕地は農民が耕作し続け、技術サービスの規模を拡大することによって農家の耕地の規模の不足を補う必要がある。それは、社会の転換期においては、農業の効率向上に着目しつつ、農民の生計と社会全体の安定という基本政策の方向にも配慮が必要だということである。

(中国共産党中央農村工作領導小組 副組長・弁公室主任

陳 錫文(Chen Xiwen)

(本稿は、(株)農林中金総合研究所の責任において翻訳したものである。)